

これまでの審議状況

～（仮称）横浜ロープウェイプロジェクト～

第 1 回目 審議（第 49 回都市美対策審議会景観審査部会 平成 31 年 2 月 18 日開催）

■審議事項

【駅舎、支柱、ゴンドラのデザインについて】

駅舎：ボリュームを最小限に抑えた 2 階建の構造とし、色彩については 1 階部分の明度を下げ、2 階部分を明るくし、軽いボリュームが宙に浮いたような印象を創出。

支柱：陸上支柱はシンプルな 1 本柱とし、海上支柱は基礎形状を抑えられる 4 本柱を採用し、丸鋼管により構成されたスリムな形状として、海上交通の安全と周囲の景観に配慮。

ゴンドラ：都市部の景観にマッチした、シンプルで機能的なデザインを採用。

■指摘事項

施設全体のトータルデザインについて再考し、駅舎、支柱についてはより軽やかに、魅力的なものになるよう、引き続き検討を進め、ゴンドラも併せて再度付議すること。また、ロープウェイ施設が計画地周辺に与える影響についても考慮すること。



第 2 回目 審議（第 50 回都市美対策審議会景観審査部会 平成 31 年 3 月 19 日開催）

■審議事項

【指摘を踏まえ修正した施設全体と各要素のデザインについて】

全体：桜木町駅から運河パークへ、無彩色のグラデーションによる色彩を施し、街並みの移り変わりを表現しながら、施設全体の統一感を演出。

駅舎：2 階のガラス面を増やすことでボリューム感を軽減し、更なる軽やかさを表現。

支柱：基本構造はそのままに、色彩について陸上支柱は周囲に馴染んだものとし、海上支柱はグラデーションを用いた色彩を推奨色とし、周囲の景観に調和しながら、上昇感・浮遊感を演出。基礎部は、形状の更なるスリム化を図り、すっきりとした印象を演出。

ゴンドラ：形状については都市部に馴染んだ当初形状を踏襲し、色彩については白系を推奨。

周辺への影響：北仲通北地区で定める視点場からの見え方について、景観パースにより検証。

■指摘事項

駅舎・支柱・ゴンドラの形態については、提案の方向で概ね良いが、地域の意見も考慮し、色彩については、運河パーク側においても無彩色系とすることで、引き続き検討し、報告すること。また、屋外広告物や夜間景観についても検討し、今後提案すること。



第 3 回目 審議・報告（第 55 回都市美対策審議会景観審査部会 令和元年 11 月 26 日開催）今回

報告事項：駅舎、支柱、ゴンドラの色彩と、計画地周辺の視点場について（資料 3）

審議事項：屋外広告物、夜間景観について（資料 4）

前回の審議会を踏まえた事業者との調整事項

(前回：第 50 回横浜市都市美対策審議会景観審査部会 平成 31 年 3 月 19 日)

前回の都市美対策審議会景観審査部会の意見を踏まえ、以下の点について事業者と協議を行いましたので報告します。

1. 要素ごとのデザインについて

(1) 桜木町駅側駅舎

周囲との調和に配慮した明るいグレー調としながら、1階の明度を下げ、2階部分が軽やかに感じられるような色彩とすることを踏まえ、マンセル値については中央地区都市景観形成ガイドラインの基準を満たすよう調整しました。

(2) 運河パーク側駅舎

施設全体に統一を持たせるため、色彩を無彩色のグレー調で統一し、駅舎の見た目のボリューム感も軽減するよう配慮しました。中央地区より明度を下げることで落ち着いた印象となるよう調整し、マンセル値を選定しました。

(3) 支柱

各駅舎直近の陸上支柱については、施設全体の統一感を表現し、周囲に馴染んだ色調となるよう調整しました。

海上支柱については、底部から上部にかけて明度を徐々に上げるようグラデーションを施し、下部の構造体（支柱基礎）を目立たせず、上部に軽やかな印象を与えるような色彩としました。

基礎形状については、耐震設計の設計地震動をレベル2に変更するよう指導があったことや、水域利用者から、潜り込みの危険性の指摘があったことを踏まえ、設計の見直しを図りました。これにより、形状寸法が以前に比べて若干増大しましたが、これまでの審議会のご意見を可能な限り踏襲するよう調整を図りました。

(4) ゴンドラ

施設全体の統一感を表現するよう無彩色とし、単色の白系ではなく、都市的交差らしい色彩としてホワイトシルバーを選定しました。

2. 北仲通北地区における視点場について

ルートが隣接する北仲通北地区について、アイレベルや将来建物を想定した空中からの視点場など、様々な視点場からの見え掛かりについて検討しました。検討に当たっては、将来建物を合成した景観パースの作成のほか、ドローンを活用したゴンドラ内からの見え掛かり検討や、模型の作成など、同地区の皆様からのご要望を踏まえながら整理を行うとともに、検討結果を踏まえた説明の場を何度か頂き、意見交換をしてきました。

引き続き丁寧な説明を続けていきたいと考えています。

横浜市都市美対策審議会 景観審査部会

「まちを楽しむ多彩な交通の充実」に向けた提案に基づく

(仮称) 横浜ロープウェイ プロジェクト 《YOKOHAMA AIR CABIN》

～報告事項～

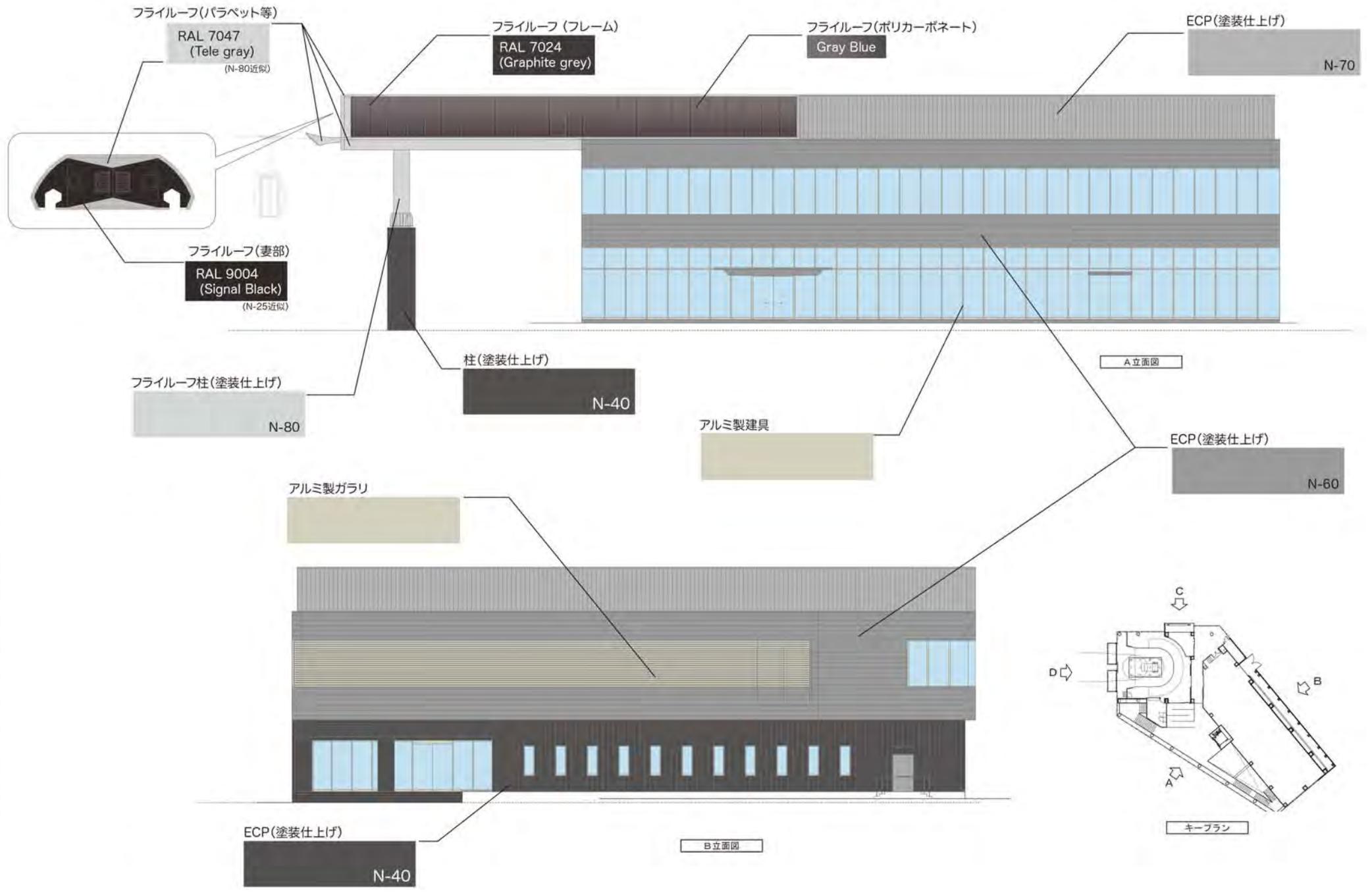
2019年 11月 26日

 泉陽興業株式会社



本図はイメージであり、計画の進行により実際の施設とは異なる場合がございます。

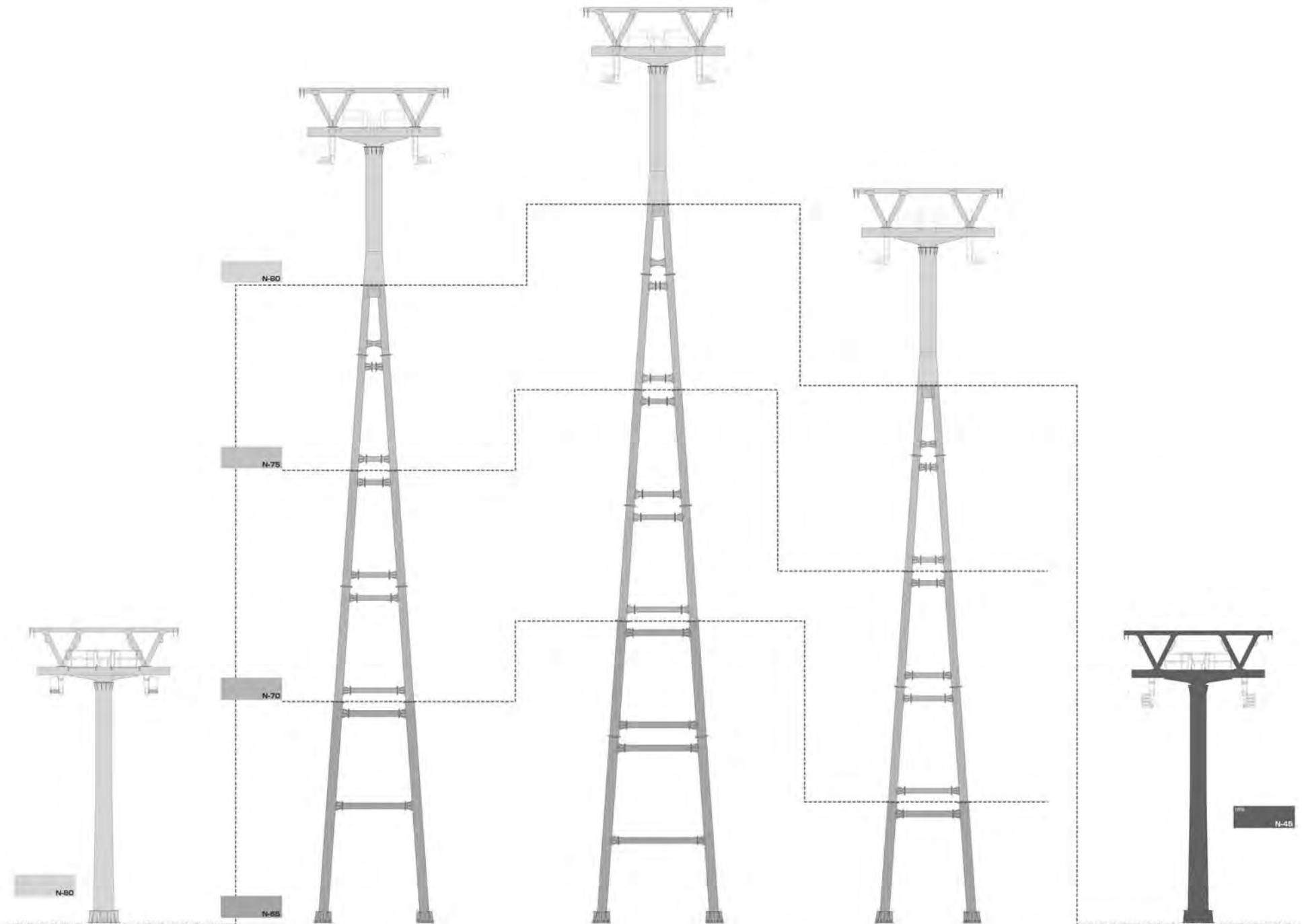




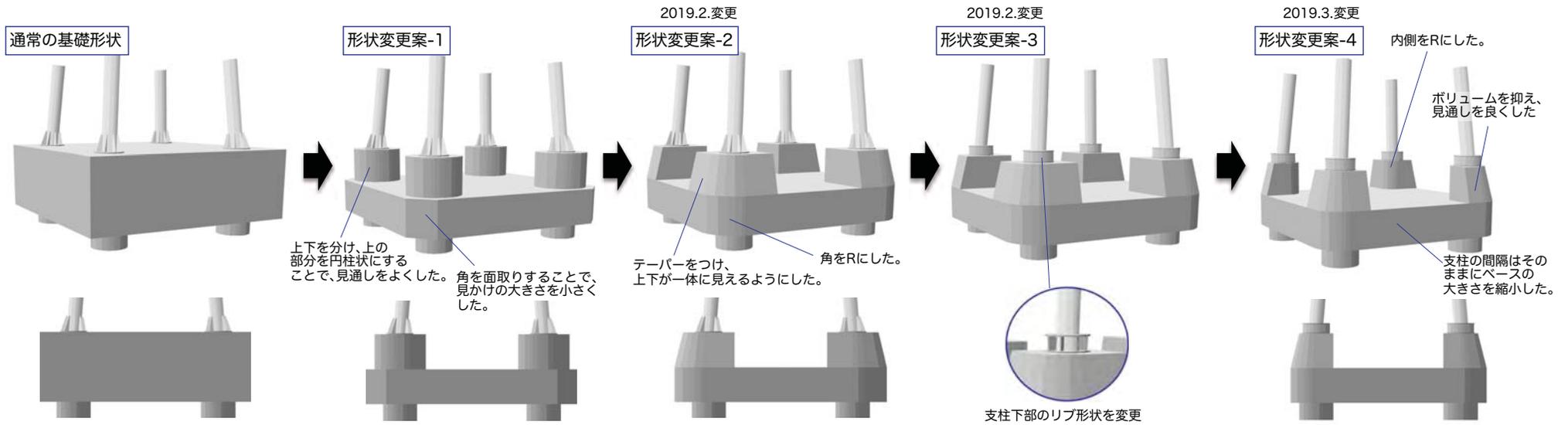


本図はイメージであり、計画の進行により実際の施設とは異なる場合がございます。

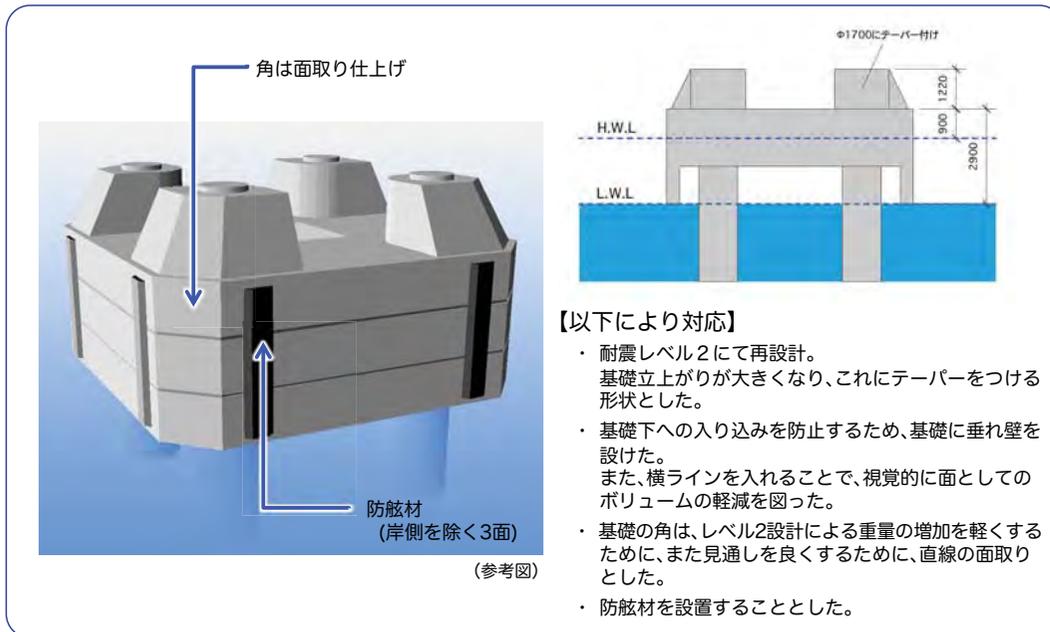




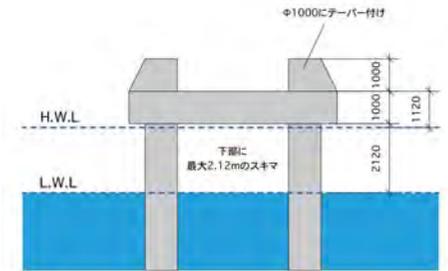
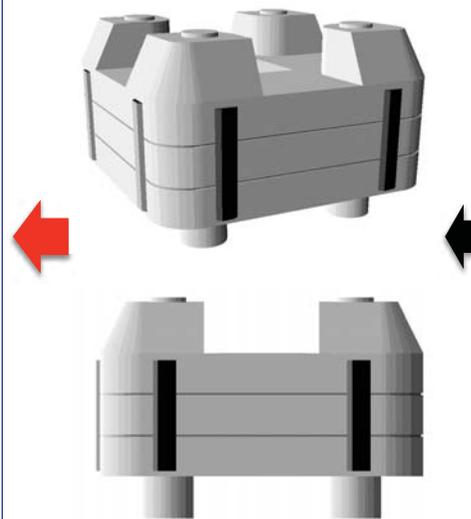
《前回の審議会での内容》



《最終の計画内容》



形状変更案-5



【港湾管理者より指導】

- ・耐震設計を、レベル1ではなくレベル2で設計すること。

【水利関係者よりご指摘】

- ・小型船が基礎の下に入り込んでしまう危険性がある。
- ・湾内の歴史遺構を説明するツアーがあり、石積み説明をしているが、コンクリートむき出しの基礎では異質な景観になってしまう。コンクリートに石張りをするなどして、景観に配慮してほしい。
- ・安全のため、防舷材を設置してほしい。



■海上支柱基礎形状

角は面取り仕上げ

防舷材(岸側を除く3面)

(参考図)

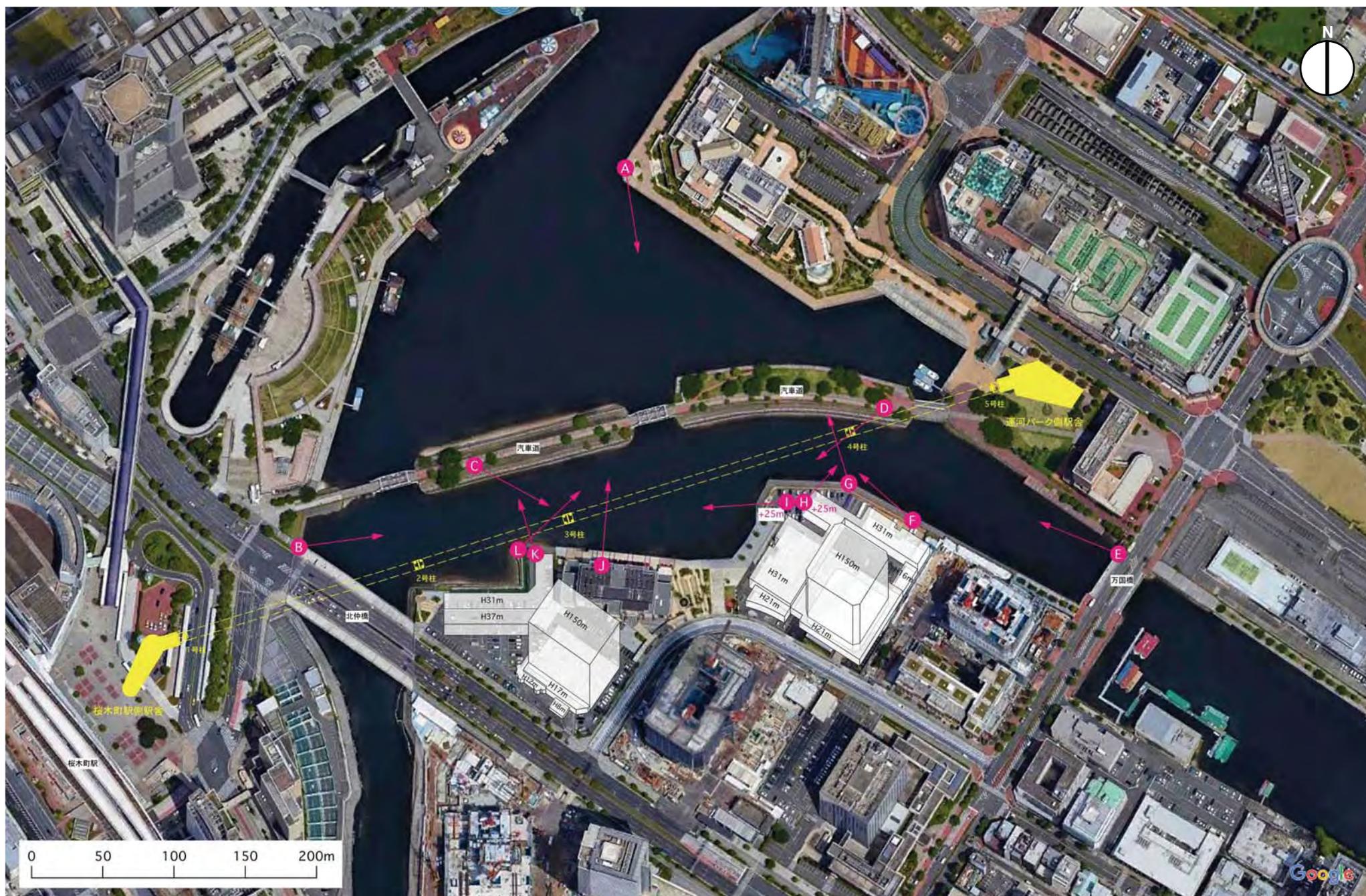
本図はイメージであり、計画の進行により実際の施設とは異なる場合がございます。



RAL9006 White aluminium

シルバー色です。
メタリックなイメージになります。







・本図はあくまでも検討用の予想図です。実際とは異なる場合があります。
・点線で示しているものは将来計画の建築物です。階高が仮の高さ4mで示しています。



・本図はあくまでも検討用の予想図です。実際とは異なる場合があります。
・点線で示しているものは将来計画の建築物です。階高が仮の高さ4mで示しています。



・本図はあくまでも検討用の予想図です。実際とは異なる場合があります。
・点線で示しているものは将来計画の建築物です。階高が仮の高さ4mで示しています。



・本図はあくまでも検討用の予想図です。実際とは異なる場合があります。
・点線で示しているものは将来計画の建築物です。階高が仮の高さ4mで示しています。



・本図はあくまでも検討用の予想図です。実際とは異なる場合があります。
・点線で示しているものは将来計画の建築物です。階高が仮の高さ4mで示しています。



・本図はあくまでも検討用の予想図です。実際とは異なる場合があります。
・点線で示しているものは将来計画の建築物です。階高が仮の高さ4mで示しています。



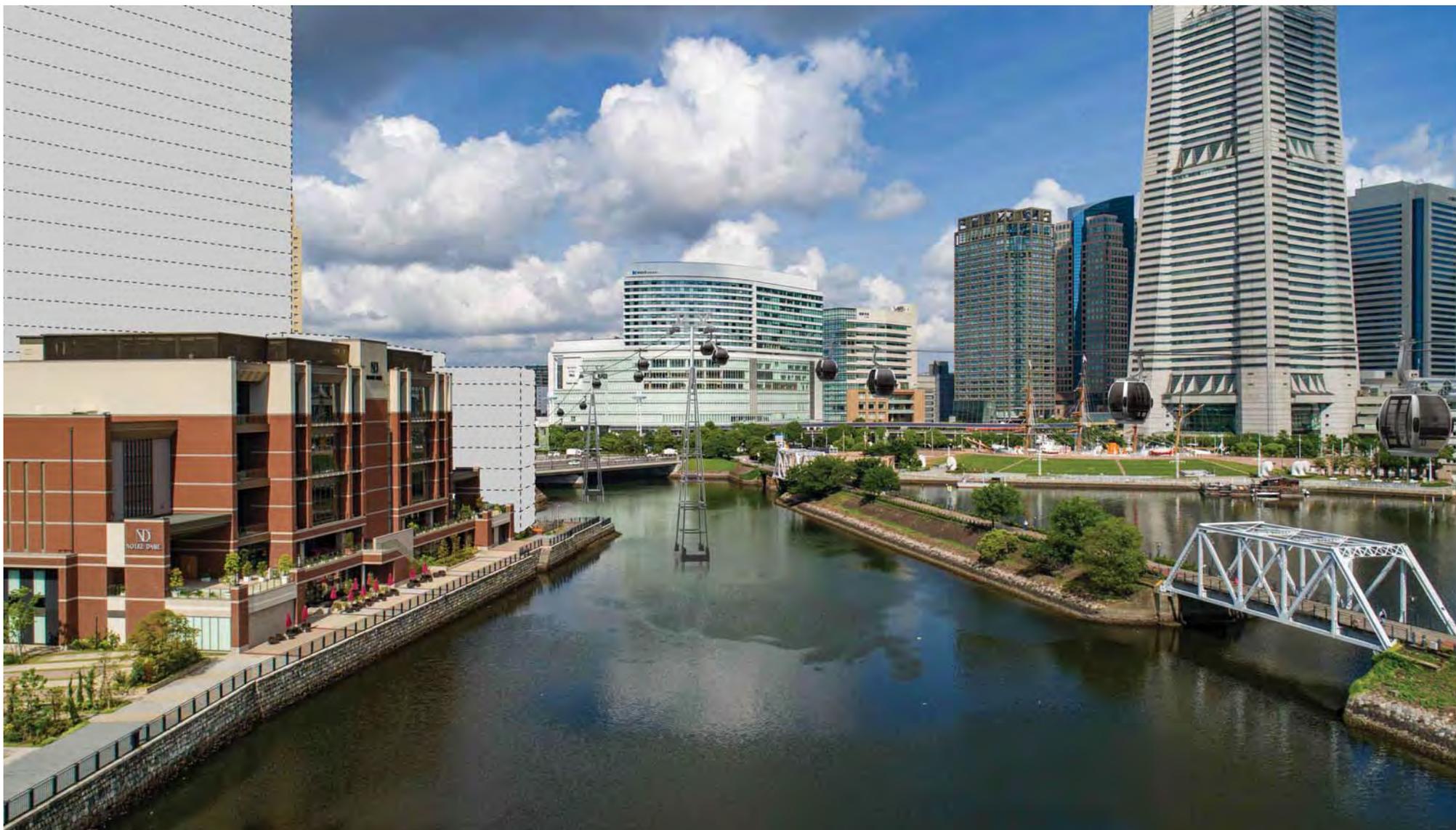
・本図はあくまでも検討用の予想図です。実際とは異なる場合があります。
・点線で示しているものは将来計画の建築物です。階高が仮の高さ4mで示しています。



・本図はあくまでも検討用の予想図です。実際とは異なる場合があります。
・点線で示しているものは将来計画の建築物です。階高が仮の高さ4mで示しています。

I. 北仲地区 中央付近(高さ：+25m、角度：水平)より

※ドローンにて撮影



・本図はあくまでも検討用の予想図です。実際とは異なる場合があります。
・点線で示しているものは将来計画の建築物です。階高が仮の高さ4mで示しています。



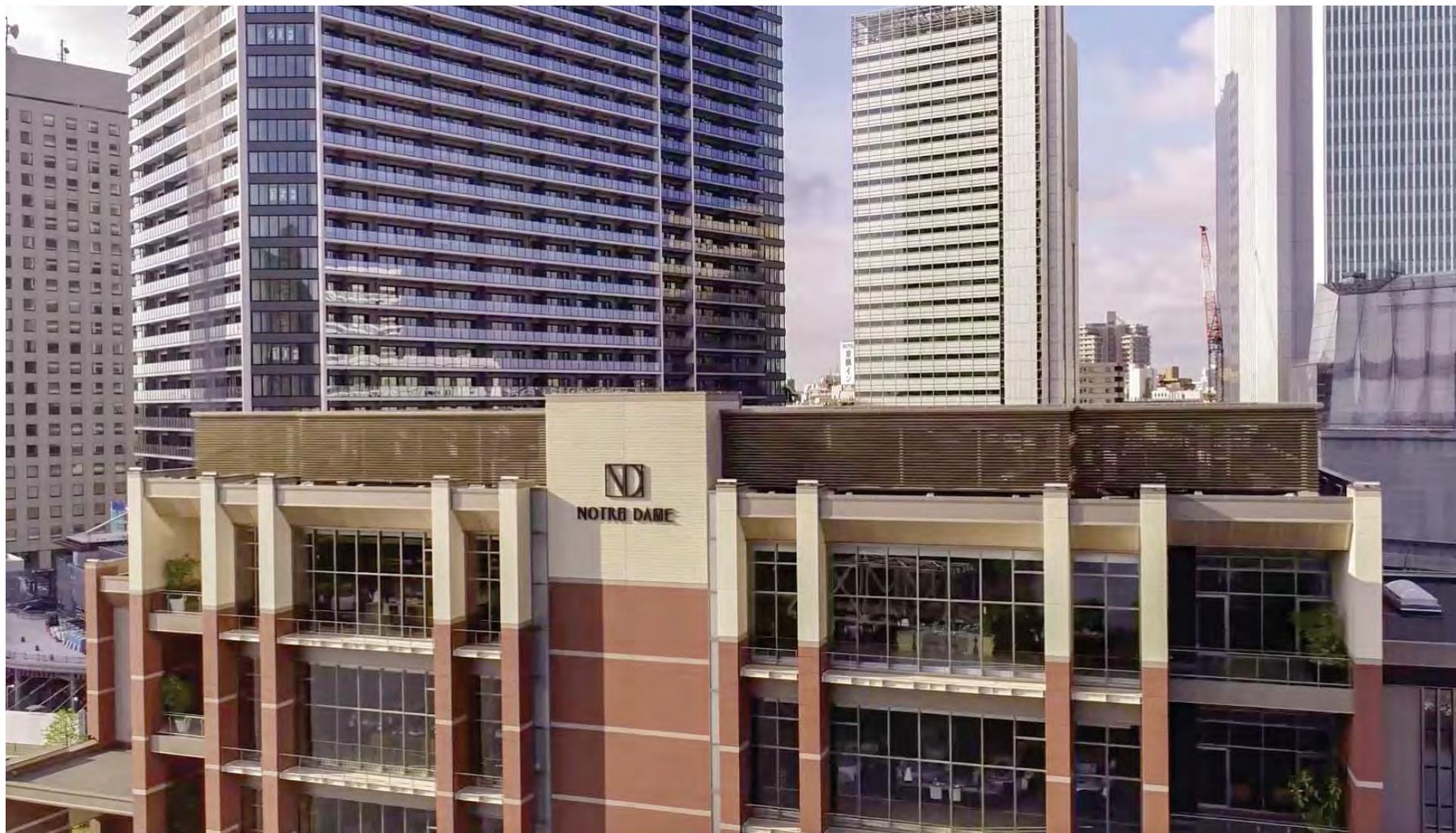
・本図はあくまでも検討用の予想図です。実際とは異なる場合があります。
・点線で示しているものは将来計画の建築物です。階高が仮の高さ4mで示しています。



・本図はあくまでも検討用の予想図です。実際とは異なる場合があります。
・点線で示しているものは将来計画の建築物です。階高が仮の高さ4mで示しています。



・本図はあくまでも検討用の予想図です。実際とは異なる場合があります。
・点線で示しているものは将来計画の建築物です。階高が仮の高さ4mで示しています。



・本図はあくまでも検討用の予想図です。実際とは異なる場合があります。
・点線で示しているものは将来計画の建築物です。階高が仮の高さ4mで示しています。



・本図はあくまでも検討用の予想図です。実際とは異なる場合があります。
・点線で示しているものは将来計画の建築物です。階高が仮の高さ4mで示しています。

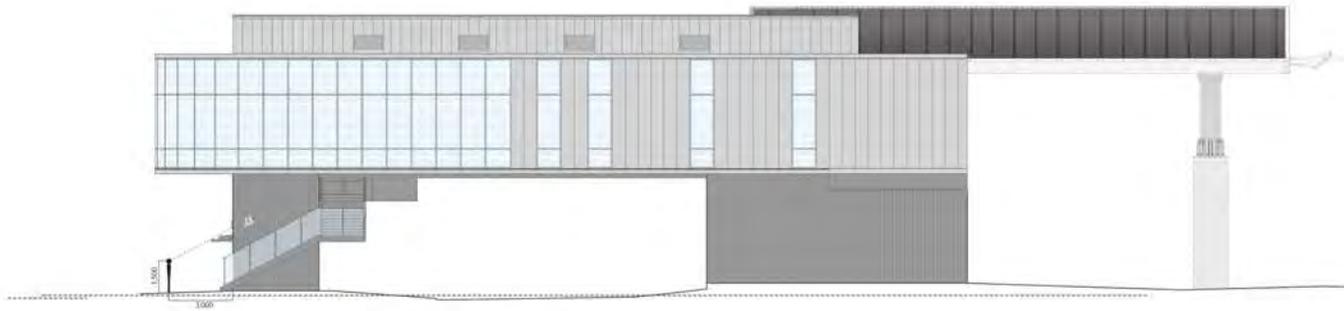
横浜市都市美対策審議会 景観審査部会

「まちを楽しむ多彩な交通の充実」に向けた提案に基づく

(仮称) 横浜ロープウェイ プロジェクト 《YOKOHAMA AIR CABIN》

～「屋外広告物」「夜間景観」について～

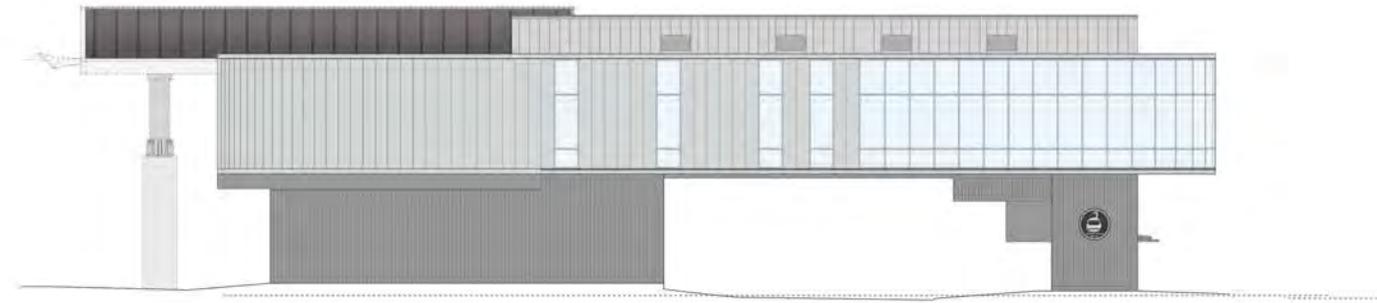
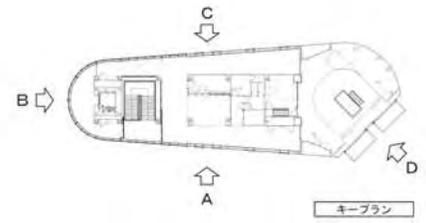
2019年 11月 26日



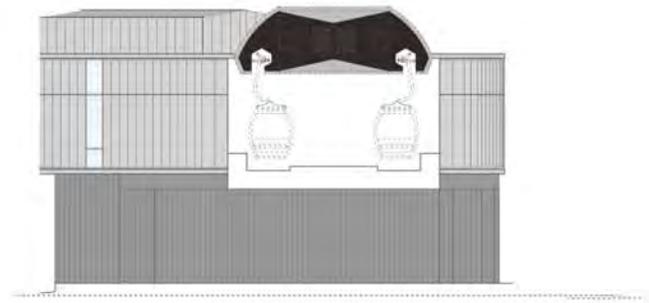
A 立面図



B 立面図

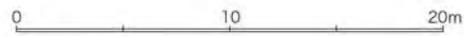


C 立面図



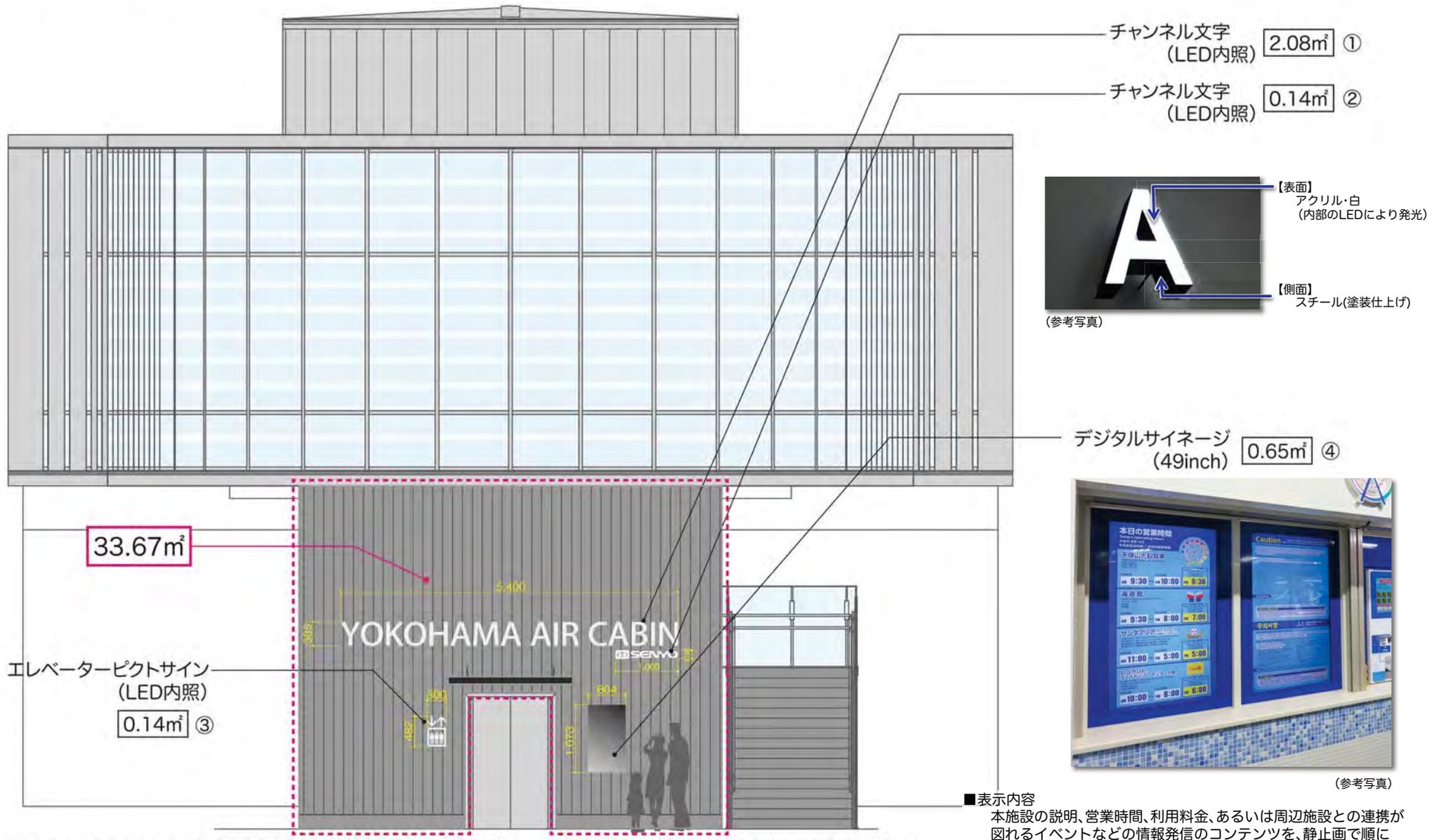
D 立面図

[S=1:250/A3]



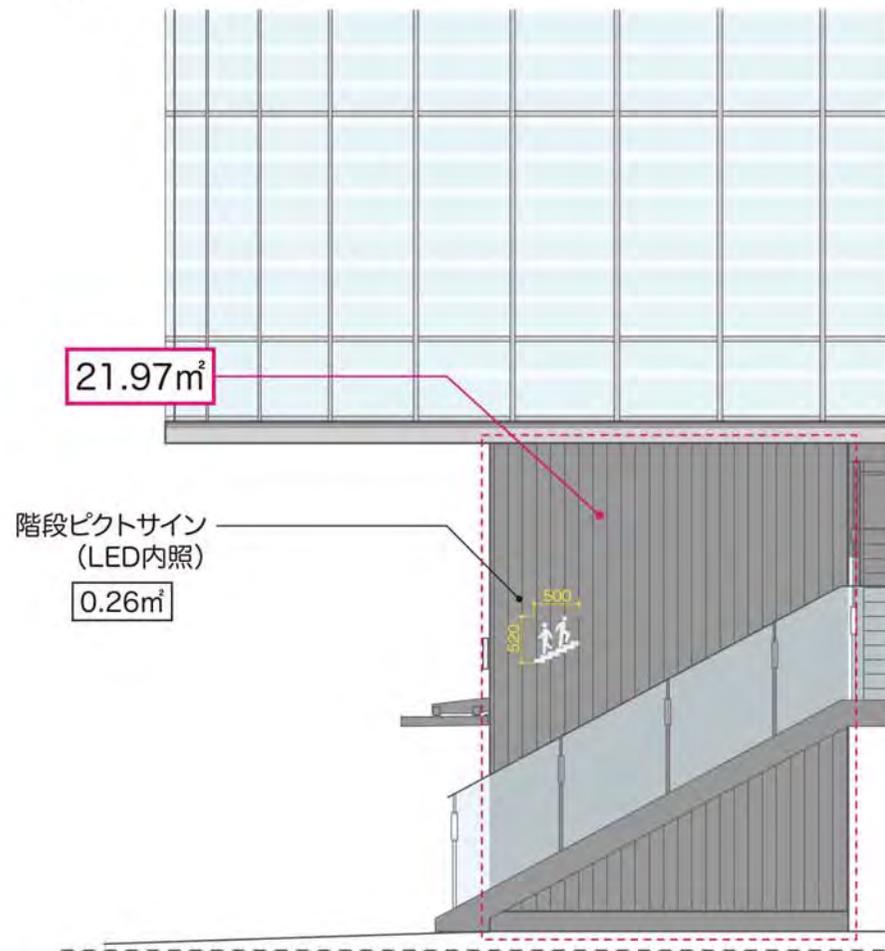
【S=1:60/A3】

B 立面図

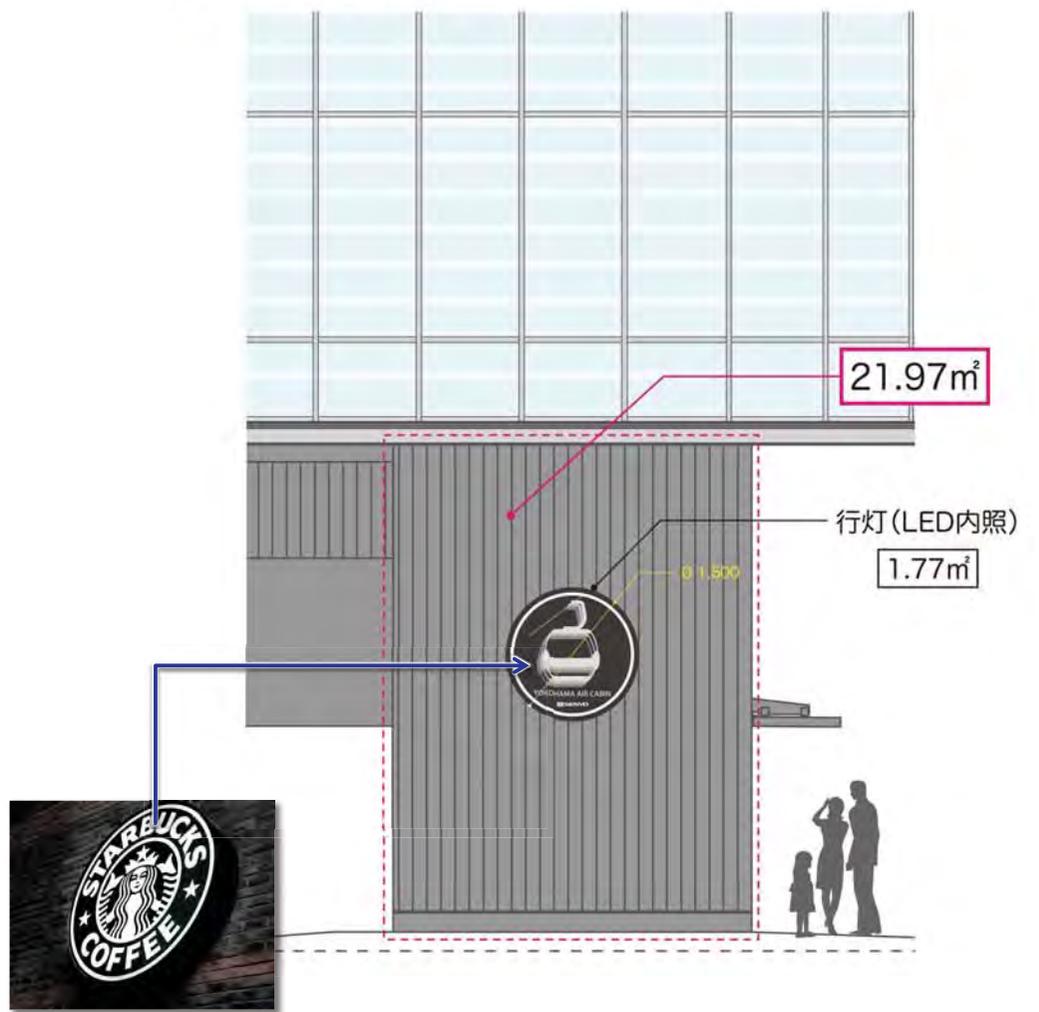


【S=1:60/A3】

A 立面図



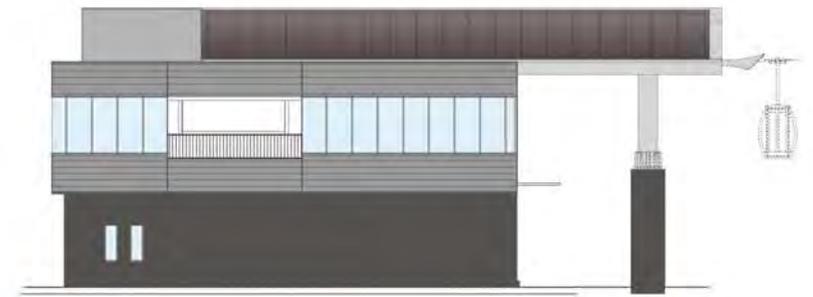
C 立面図



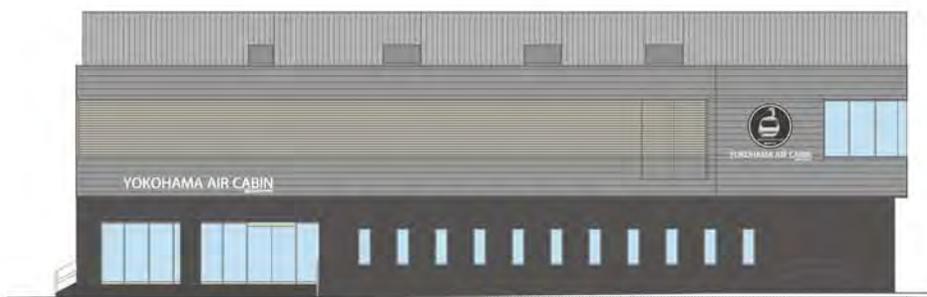
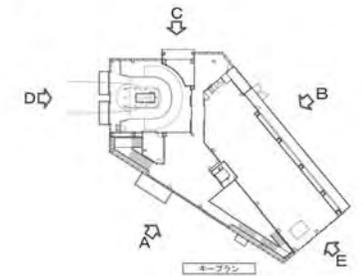
【表面】
アクリル・白+カッティングシート
(内部のLEDにより発光)



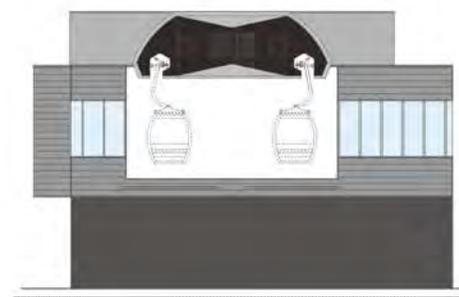
A 立面図



C 立面図



B 立面図

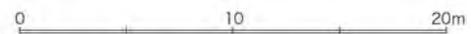


D 立面図



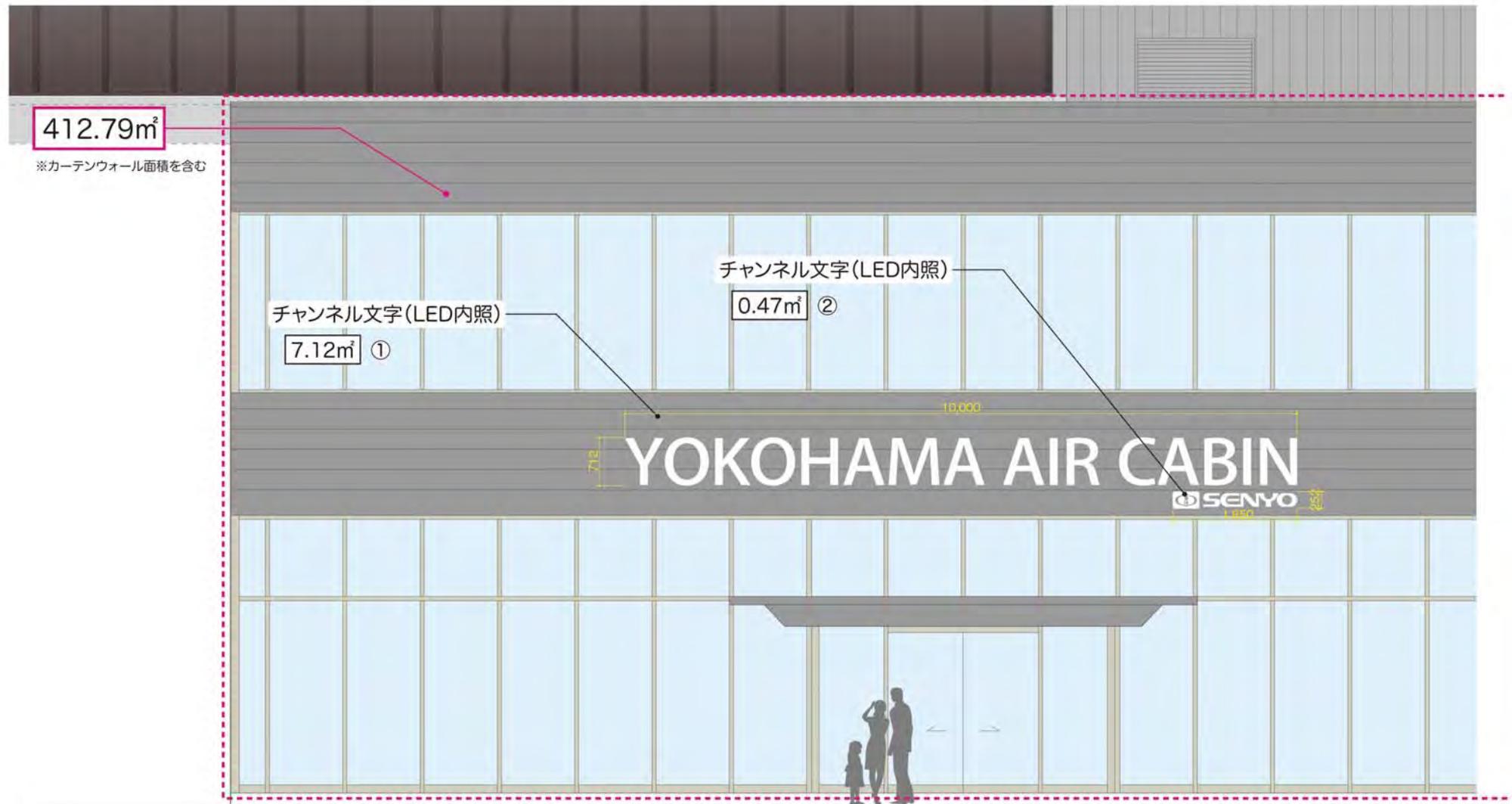
E 立面図

[S=1:250/A3]



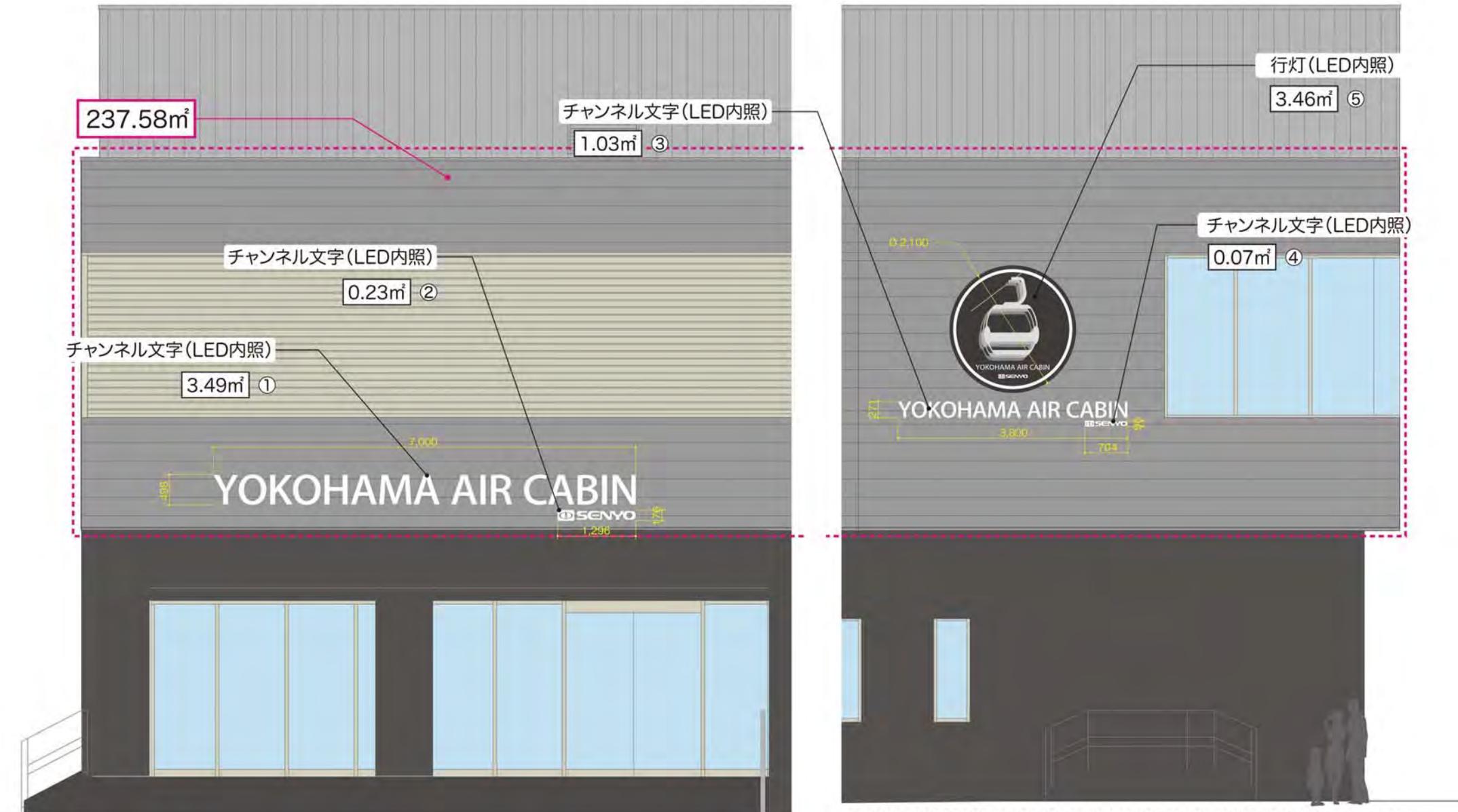
A 立面図

【S=1:60/A3】



B 立面図

【S=1:60/A3】



■夜間照明計画のコンセプト

照明計画につきましては、横浜市にも関わりが深く世界的に有名な照明デザイナー・石井幹子氏に監修をお願いし、横浜にふさわしい夜の景観を創出してまいります。

建築(駅舎)基礎照明

- ① 各街区の特性に応じた夜間景観を創出すること。
- ② 建築デザインのコンセプトに合わせ、上昇感や浮遊感を与えること。

基本となる照明の色温度は3000K程度とし、上階に広く設けられたガラス窓から漏れる内部の暖かな照明が駅舎の存在を柔らかく示します。

また下階は周辺を往来する歩行者に適度な明るさを与える照明を設置する程度にとどめます。

これによって施設全体を浮かび上がらせるというデザインコンセプトに合致し、さらに華美にならず、街区内の夜の景観の一部として魅力ある空間を創り出します。

支柱基礎照明

支柱は電源を持たないため、基礎照明はございません。
(演出照明につきましては別途検討いたしております。)

ゴンドラ基礎照明

乗客の夜景の眺望を妨げない、必要最低限の室内照明を設置いたします。



(JR桜木町駅前広場)



(北仲エリア方面)



(運河パーク)



本図はイメージであり、計画の進行により実際の施設とは異なる場合がございます。



本図はイメージであり、計画の進行により実際の施設とは異なる場合がございます。

施設全体の演出照明

YOKOHAMA AIR CABIN の演出照明デザインに際しては、立地、環境、施設特性、諸条件等に鑑み、照明デザイン上、以下のようなデザインコンセプトを設定し、これに基づいて検討を進めるものとします。

1. 景観性

- ・ 都心臨海部に架かるロープウェイという特徴的な景観を生かしつつも周辺景観との調和を重視し、全体として夜間景観の魅力をより高める照明デザインとします。
- ・ ロープウェイ自体の見え方のみならず、ロープウェイ駅舎やゴンドラの内部から望む景観も魅力的であるような照明デザインとします。

2. 文化性

- ・ 日本における先進的な都市形成エリアである横浜という特別な環境をふまえ、歴史ある横浜の都市文化を継承し、そこに新たな魅力を付加できるような照明デザインとします。

3. 先進性

- ・ 日本初の常設都市型ロープウェイにふさわしく、照明デザインにおいても、最先端の光源や光制御技術を活用した照明とします。

4. 普遍性

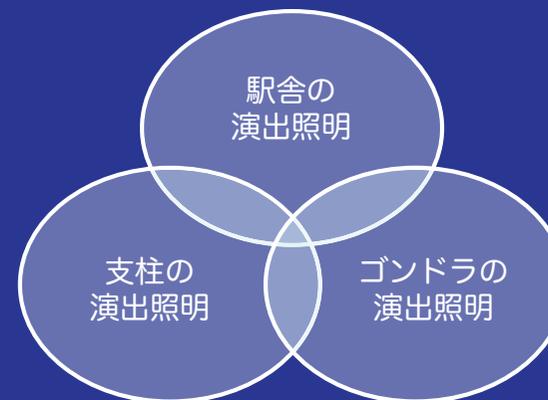
- ・ 老若男女誰にでもわかりやすく、観光客をはじめとした訪れる人々を魅了すると同時に、横浜市民に将来にわたって親しまれるような照明デザインとします。

周辺施設との調和や住宅に配慮し、眩しいものや華美な照明は導入せず、
一方で横浜の夜間の魅力アップと集客向上の一助となるよう、夜間景観を創出してまいります。

照明計画につきましては、横浜市にも関わりが深く世界的に有名な照明デザイナー・石井幹子氏に監修をお願いし、横浜にふさわしい夜の景観を創出してまいります。



(イメージ)



最新の照明技術、日本初あるいは世界初の照明アイテムを用いて新しい横浜の夜間景観を創出します。

事業者提案に対する市の考え方

— (仮称) 横浜ロープウェイプロジェクト —

1. 屋外広告物について

本施設のデザインコンセプトを踏まえながら、過度な主張を避け、シンプルかつ必要最小限の情報を示すサイン計画であり、適切であると考えます。

仕様については、表面はアクリルの白系で、LED内照式となっており、色彩については建物が無彩色であることから、夜間も含めた視認性確保の観点から妥当であると考えます。

なお、横浜市屋外広告物条例等に規定する面積基準を満たすことを確認しています。

また、桜木町側駅舎正面に計画されたデジタルサイネージについては、運行情報等、本施設に関する情報を静止画で順に表示する計画になっており、利用者への情報提供の観点から問題ないと考えますが、詳細な運用方法については今後調整を進めていきます。

2. 夜間景観について

今回提案されている基礎照明について、周囲の景観に調和し、落ち着いた夜間景観を創出しているものと考えます。

駅舎については、3,000K 程度の暖色系の屋内照明及び屋外に配置したダウンライトにより、柔らかい印象を与えるとともに、通行する人や車両への影響も考慮されています。

ゴンドラは、ゴンドラ内から明かりが外に漏れることのないよう最低限の照明とし、運行ルート沿いの近隣へ配慮した計画となっているものと考えます。

現在、事業者において本施設の特徴を活かした演出照明について検討しています。住宅やホテルが立地する周辺地区に十分配慮するとともに、バス・タクシー等道路交通の安全性確保などの視点から、都市的交通として落ち着いた夜間景観となるよう、今後協議を続け、改めて当部会へ提案してまいります。